

PHRを活用した「君津（医療圏）モデル」実装による 循環型地域医療連携システムの実現事業

取り組む背景

- 医療・介護機関の連携を強化し、市民が住み慣れた地域で適切な医療を受けられる体制が求められている。
- 市民が自身の健康管理に積極的に関与できる仕組みを整え、健康寿命の延伸を図る必要がある。
- 医療資源の適正配分や施設の機能分担を進め、効率的で持続可能な医療提供体制の構築が望まれる。

事業内容

- PHR(Personal Health Record:個人健康情報管理)プラットフォーム「ヘルスケアパスポート」を活用した地域医療連携システム実装。
- ✓ 君津医療圏における基幹病院への「ヘルスケアパスポート」導入、同時に病診薬および在宅・介護領域での面展開を目指す。
- ✓ 医療機関・調剤薬局(民間衛生検査所、お薬手帳・多職種連携サービス等含む)と市民、行政をネットワーク化し、医療情報の管理主体を個人のものとして一元化・共有することで、すべてのライフステージにおける市民の健康増進を支援する。

期待される効果

- ✓ 市民の能動的な健康増進行動を促し、地域健康コミュニティの醸成や健康サービス利用の活性化、健康指標の改善に貢献。
- ✓ 専門医とかかりつけ医の機能分担、孤立させない・世代地域で断絶しない医療の整備等に寄与するとともに、中長期的には医療費の削減につながる。

